

平成19年11月16日

経済産業省

## 日米製品安全協議について

経済産業省はCPSC（米国消費者製品安全委員会）と日米製品安全協議を11月20日に開催する予定。当省からは本庄孝志大臣官房審議官（製品安全担当）、渡邊宏商務情報政策局製品安全課長等が出席。米国側からはナンシー・ノード委員長代行、リチャード・オブライエン国際問題担当局長が出席予定。会議では両国における製品事故の現状、製品安全分野についての事前規制システム問題等について率直な意見交換を行うと共に、日米ガイドライン（2006年締結）に基づく製品安全分野における協力について話し合いを行う予定。

### 1. 日米製品安全協議の予定

#### 記

○日時：平成19年11月20日（火） 10:00～正午

○会場：第4特別会議室（経済産業省別館3F）

○主な議題

- (1) 事故情報報告制度に関する意見交換
- (2) 製品安全についての事前規制に関する意見交換
- (3) 日米間の製品安全分野の協力の進め方

○出席者

（経済産業省）

本庄孝志 大臣官房審議官（製品安全担当）

渡邊宏 製品安全課長 他

（米国消費者製品安全委員会（Consumer Product Safety Commission））

ナンシー・ノード 委員長代行

リチャード・オブライエン 国際問題担当局長

### 【参考】米国消費者製品安全委員会（CPSC）について

15000種類に及ぶ消費者製品に関連する死傷事故から国民を守るため1973年に設立された独立政府機関。委員長は大統領による任命だが、現在は空席。委員長代行としてナンシー・ノード氏が同委員会のトップを務める。米国では消費者製品起因事故による死傷によるコストは毎年7000億ドル（約77.7兆円）に達するとされ、同委員会は消費者製品（玩具、ベビーベッド、タバコ用ライター）、家庭用品から消費者を保護するために活動を行っている。

今回、ナンシー委員長代行は毎月19日に都内にて開催された製品安全総点検セミナーに来賓として出席のため来日。

(本発表資料のお問い合わせ先)

商務情報政策局製品安全課

担当者：古谷、大野

電話：03-3501-4707